



2024年横浜港

ビッグニュース

横浜市港湾局

国際競争力強化への取組

6月～ 本牧A突堤に新たな5つのロジスティクス施設が竣工

輸出入貨物に対応したコンテナ貨物取扱量の増大や定着に向けて、流通加工等の高機能な物流サービスを提供するロジスティクス施設が6月から順次竣工し、現在は、既存の3棟と合わせて8棟が稼働しています。



7月 「横浜川崎港湾セミナー in バンコク」の開催

東南アジア等からの広域集貨に向けて、タイのバンコクにて、タイ港湾庁、在タイ日本大使館等を招き、荷主企業や物流事業者等を対象としたセミナーを開催し、100名を超える参加がありました。

10月 2024年上半期のコンテナ取扱個数が好調

昨年、コンテナ取扱個数は5年ぶりに300万個を超えました。2024年上半期(1～6月)も外貨コンテナ貨物が好調で、コンテナ取扱総数は、前年度同期比3.0%増となりました。



10月～ 進む新本牧ふ頭埋立工事

9月末時点で第1期地区の埋立容量約900万㎡のうち、約270万㎡の土砂投入が完了し、10月からは、リニア中央新幹線のトンネル工事の土砂を本格的に受け入れるなど、新本牧ふ頭の埋立が着実に進んでいます。



11月 本牧ふ頭D5コンテナターミナル再整備の推進

超大型コンテナ船に対応した最新鋭のコンテナターミナルとして再整備を進めているD5ターミナル。D5岸壁の補強工事也大詰めを迎え、来年度の供用に向けて、新たな荷役方式に対応したヤード整備や新管理棟などの整備が着実に進んでいます。



カーボンニュートラルポートの形成

4・7・9月 次世代船舶燃料等の環境配慮船の普及促進に向けた取組の推進

【メタノール燃料船への対応】

4月に大黒ふ頭にて、約16,000個積みの超大型グリーンメタノールコンテナ船の命名式が日本で初めて実施されました。9月には南本牧ふ頭において、メタノールの船舶燃料利用の実装に向けたメタノールパンカリングシミュレーションを実施しました。



【アンモニア燃料船への対応】

7月に本牧ふ頭にて、アンモニア燃料タグボートに対して、世界初のTruck to Ship方式による燃料アンモニアの供給を行いました。



4月 電気運搬船を活用したグリーン電力供給拠点の形成

東京電力パワーグリッド株式会社及び株式会社海上パワーグリッドと覚書を締結しました。クルーズ船への陸上電力供給等による臨海部の電力需要増加、脱炭素化に伴う電力需給バランスの変動に対応する電力供給設備の構築、電気運搬船による洋上風力発電由来のグリーン電力の横浜港への供給可能性を検討します。



5・10月 進む海外港湾との関係構築

姉妹港連携を通じ、5月に米国カリフォルニア州ワイニミー港とグリーン自動車海運回廊に関する覚書を締結しました。10月にハンブルク・サステナビリティ会議に参加し、国際海運の脱炭素化に関する「ハンブルク宣言」に署名しました。アジアからは唯一の署名者となります。



観光と賑わいの港

1～12月 客船で賑わう横浜港

積極的なクルーズ船の受入に取り組んだ結果、4月には、国内初となる月内に2回の4隻同時着岸が実現しました。また、MITSUI OCEAN FUJI (三井オーシャンフジ)をはじめ、年間12隻が初入港するなど、様々なクルーズ船の寄港により、賑わいが創出されました。



3月 帆船日本丸維持修繕でクラウドファンディングを活用

1月から56日間実施したクラウドファンディングにおいて、目標金額を上回る475万円の寄附をいただき、船尾フードの修繕等を実施しました。寄付とともに、帆船日本丸の思い出や温かい応援メッセージを数多く寄せていただきました。



3月 ハンマーヘッドウォークが開通

サークルウォークと新港ふ頭客船ターミナルを結ぶ歩行者専用デッキが3月28日(木)に開通しました。



8月 シーバスの「山下公園のりば」がリニューアルオープン

令和4年から、リニューアルのため閉鎖されていたシーバスの「山下公園のりば」が、8月からオープンし、定期航路も再開しました。これにより、横浜港の水上交通が一層賑わいを増すことが期待されます。



山下ふ頭の再開発

1～12月 横浜市山下ふ頭開発検討委員会を開催

2023年から開催しているまちづくりの方向性等を検討する「山下ふ頭再開発検討委員会」を、2024年は4回開催しました。委員会では、各委員からのプレゼンテーションや意見書の説明とともに、答申の取りまとめに向けた議論が行われました。今後、答申を踏まえ、本市にて事業計画(案)を作成し、市民意見募集や意見交換会等を実施したうえで事業計画を策定し、2026年度頃の事業化を目指します。



通年 山下ふ頭の暫定活用

倉庫等の移転跡地において、港湾エリアの広さや眺望を活かしたアート展覧会や野外音楽イベント、車やバイクの参加型展示イベント等の暫定活用を行うことで、都心臨海部の賑わい創出や再開発の機運醸成を図っています。

3月31日には、2020年から設置していた実物大「動くガンダム」の公開終了にあたり、フィナーレイベントが盛大に行われました。

